

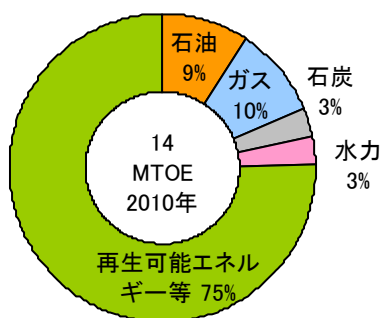
## 1-11 ミャンマー

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2010年) : 14 百万 TOE (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2010年) : 0.29TOE (日本の 0.08 倍)
- (3) エネルギー自給率(2010年) : 161%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2010年) : 8 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2010年) : 0.17CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2011年末) : 天然ガス 17.8 年

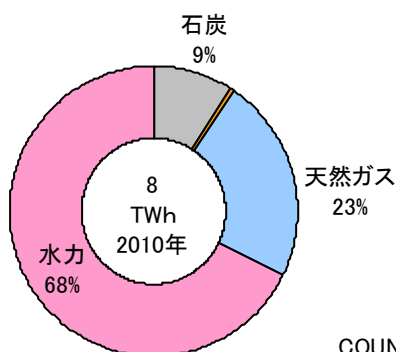
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Myanmar

(出所) IEA. Energy Balances of Non-OECD Countries. 2012 edition.

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Myanmar

(出所) IEA. Energy Balances of Non-OECD Countries. 2012 edition.

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Ministry of Energy : MOE) 下のエネルギー計画部 (Energy Planning Deapartment) がエネルギー政策や、石油・ガス開発方針・生産計画を策定している。MOE はエネルギー各分野の管理監督を行っており、ミャンマーのエネルギー産業はこのMOE の管轄下にある。第一電力省 (Minitstry of Electric Power 1) が水力に係る開発計画の立案から発電所の運転までを管轄し、第二電力省 (Minitstry of Electric Power 2) は火力発電所の建設・運用、送配電、小売を管轄している。

### (2) 基本政策

- ミャンマーのエネルギー政策として、①エネルギー自給率の維持、②再生可能エネルギーの多角的な利用推進、③省エネルギー推進など、エネルギーの効率的な利用、④家庭部門で代替燃料の利用推進、が挙げられる。

### (3) 最近の動向

- ミャンマー政府は、外資による大型の発電所建設の中止を 2 ヶ所続けて行った。2011 年 10 月、地元住民の強い反対を受けて、China Power Investment、ミャンマー企業 Asia World Corp.、Myanmar Electric Power Enterprise が行っていた Kachin 州 Myitsone 水力発電所 (4, 100MW) 建設の工事凍結が命じられた。2012 年 1 月には、タイが支援している Dawei 特別経済区の発電所 (4, 000MW) 建設の凍結も決定された。
- ミャンマーの民主化への動きを評価した国際社会は、同国との経済関係の修復を行っている。日本は、投資協定の締結に向けた交渉を開始し、延滞債務問題の解決に動き、円借款再開とインフラ建設などの本格支援に乗り出した。EU はミャンマーに対する制裁 (武器禁輸を除く) を 1 年停止することと決定し、米国も経済制裁の一時停止を決定し、最大 136 億円規模の援助再開を表明した。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本国及び JX 日鉱日石開発の折半会社である日石ミャンマー石油開発は Yatagun 天然ガス田の権益 19.3% を保有している。2000 年 5 月より生産中であり、保有権益分の天然ガス・コンデンセートの生産量は 9, 500 石油換算 b/d となっている。
- 2011 年 9 月、日本政府は、ミャンマーとレアアースを含む天然鉱物資源を共同開発する方針を固めた。2012 年 5 月、伊藤忠商事がミャンマーにおけるレアメタル鉱山開発の事業化調査に着手することとなり、モリブデンやタングステン の地質調査を行うことが明らかになった。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	14 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.29 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.80 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	161 %
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	8 百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	0.17 CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	3 %
	石油	9 %
	天然ガス	10 %
	原子力	0 %
	水力	3 %
	その他	75 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-61 %
(9)	石油の輸入依存度	27 %
(10)	輸入原油の中東依存度	- %
(11)	原油輸入先	
	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1) ~ (4) および (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition  
(5) ~ (6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition